

# 無機と有機の違いって何？

まず、ポリバケツを想像して見てください。

ポリバケツを2～3年外に放置すると、劣化してバリバリ・ボロボロになってしまった経験は無いでしょうか？  
透水性コンクリート(ポーラスコンクリート)にも同じ事が言えるのです。

従来、透水性コンクリートは、骨材同士を結合する材料(バインダー)は有機系の材料を使用していました。  
すると、どうでしょう？

下記の写真②を見て頂けると納得頂けると思いますが、有機系バインダー使用の透水性コンクリートは、時間の経過とともに、バインダーは劣化による目詰まりを引き起こし、更にカビの繁殖を促し、透水機能を著しく低下させます。

透水性【無機】環境舗装材「ドライウェイ」は、無機系バインダー開発・運用に成功し、従来製品の問題点を大幅に改善いたしました。

勿論、埃や砂等による目詰まりはございますが、高圧洗浄により機能回復が可能です。



写真①  
有機系バインダー使用の透水性コンクリート  
(施工直後)



写真②  
有機系バインダー使用の透水性コンクリート  
(施工後5年以上経過)



写真③  
ドライウェイ(無機バインダー使用)  
(施工直後) カラータイプ: オフホワイト



写真④  
ドライウェイ(無機バインダー使用)  
(施工後3年程度) カラータイプ: ポルトランドグレー